

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
守谷中央地区

平成27年3月

茨城県守谷市

様式2-1 評価結果のまとめ

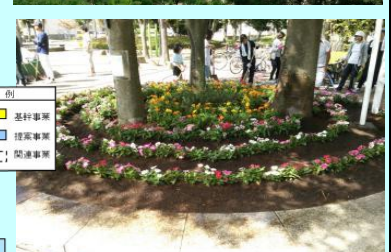
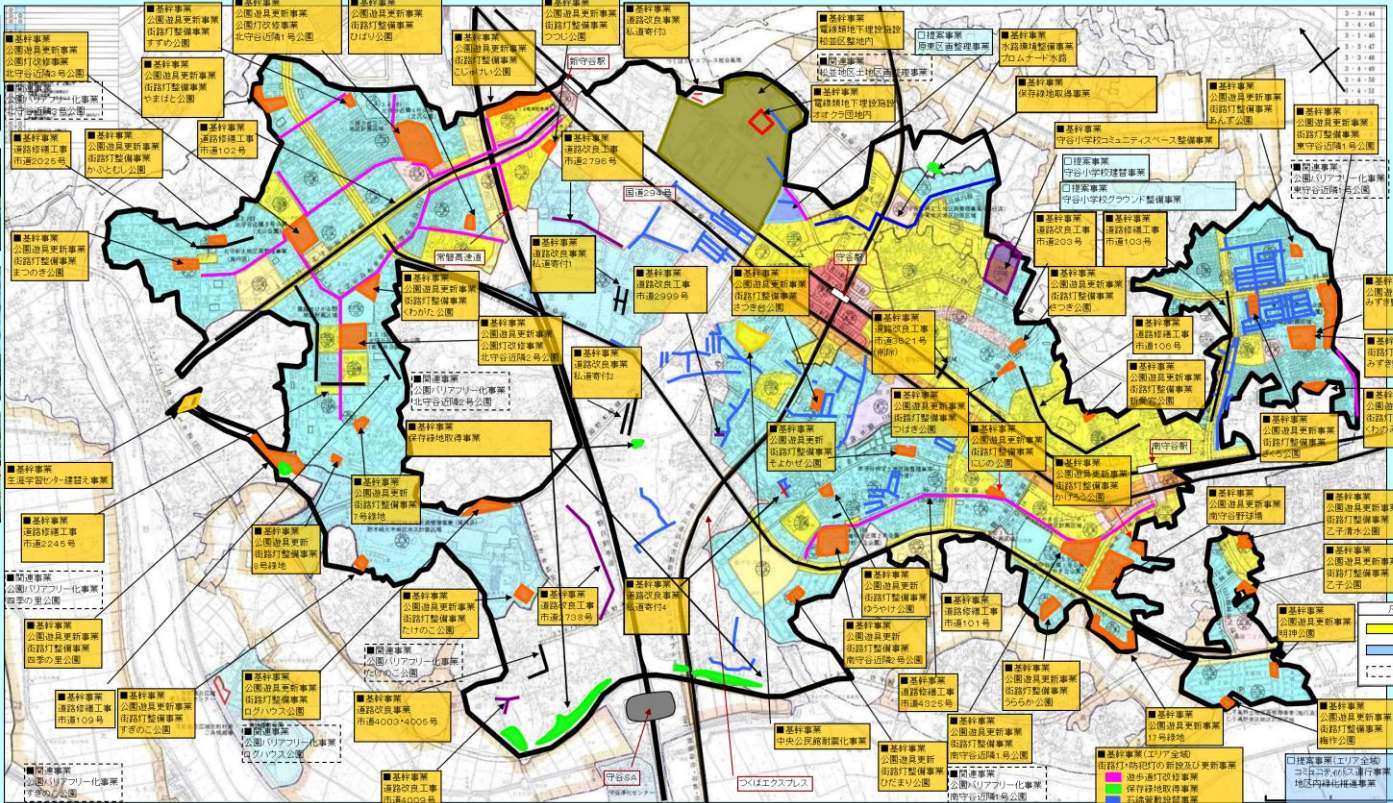
都道府県名	茨城県		市町村名	守谷市		地区名	守谷中央地区			面積	1340ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成22年度～平成26年度		交付対象事業費	5971百万円	国費率	0.37				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	市道修繕・改良事業(15路線)、公園(近隣公園4箇所、街区公園4箇所)、地域生活基盤施設(緑地保存、地域防災施設(中央公民館・石綿管敷設替)、高質空間形成施設(遊歩道灯・公園灯、街路灯・防犯灯、プロムナード水路環境整備)、高次都市施設(地域交流センター(もりや学びの里))										
		提案事業	地区内緑化推進事業、土地区画整理事業、コミュニティバスの試験運行										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業											
	新たに追加した事業	基幹事業	公園(都市緑地5箇所)、高質空間形成施設(電線類地下埋設施設)、高次都市施設(守谷小学校コミュニティスペース)、既存建物活用事業(もりや学びの里)		安全・安心なまちづくりの推進のため、老朽化施設の更新、耐震改修等を追加したもの				指標に合致するため、新たな指標の必要性なし。				
提案事業		小学校建替事業(守谷小学校)、グラウンド整備事業(守谷小学校)		安全・安心なまちづくりの推進のため、老朽化施設の更新、耐震改修等を追加したもの				影響なし					
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成 年度～平成 年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	緑化推進活動団体登録人数	人	857	H21	952	H26	モニタリング	1,651	○	あり なし	緑あふれる守谷を推進する保存緑地事業や良好な街並みの形成による相乗効果として、市民の緑化意識が高まった。	平成27年4月頃
	指標2	住環境に対する不満足度	件	111	H20	80	H26	モニタリング	40	○	あり なし	市民に身近な道路や公園、照明設備の充実やコミュニティバスの利便向上による効果である。	平成27年4月頃
	指標3	市民活動登録人数及び生涯学習センター利用者数	人	33,912	H21	36,963	H26	モニタリング	38,436	○	あり なし	安心して利用できる地域交流センター等の整備や市民協働のまちづくりの浸透により地域コミュニティが促進された。	平成27年4月頃
	指標4							モニタリング			あり なし		
	指標5							モニタリング			あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1						モニタリング						
	その他の数値指標2						モニタリング						
	その他の数値指標3						モニタリング						
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							



様式2-2 地区の概要

守谷中央地区(茨城県守谷市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:誰もが安心して生活できる,市民に優しいまちづくり 目標1:もりのやの自然と調和した緑あふれるまちづくりを進めます 目標2:市民にとって便利で安心して利用できるようなまちづくりを進めます 目標3:市民協働のまちづくりを進めコミュニティを育成します	緑化推進活動登録の人数	857 H21	952 H26	1,651	H26
	住環境に対する不満足度	111 H20	80 H26	40	H26
	市民活動登録人数及び生涯学習センター利用人数	33,912 H21	36,963 H26	38,436	H26
	単位:	H	H		H



<p>まちの課題の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存緑地取得事業により,市民が自然に触れ合う場として,守谷の大切な緑を後世に残すことができた。</li> <li>・公園や防犯灯等の整備,老朽化した配水管や中央公民館等の耐震化対策,新市街地の電線類地中化整備などにより,安全で安心して利用できる公共空間が確保され,安全安心なまちづくりが促進された。</li> <li>・地域交流センター(もりや学びの里,守小コミュニティスペース)や公園などのコミュニティの場が再整備されたこと,緑化推進事業の広がりになどにより,地域コミュニティが促進された。</li> <li>・コミュニティバスルートが再編され向上した。</li> </ul>	
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラの設置など更なる安全施設の整備に努めるとともに,整備された安全安心な公共空間の維持管理のため,市民協働のまちづくりを推進し,ソフト面での行政支援の充実を図る。</li> <li>・コミュニティ活動の持続,推進のため,緑にふれあいながらコミュニティ形成できる事業など,市民の方の参加意欲が向上するようなイベントの開催し,合わせてPRの強化を図る。</li> <li>・低炭素まちづくり計画に基づく以下の方策が必要である。                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 守谷駅周辺に都市機能の集約を図り土地利用を促進,地域交流センターや集約駐車場・駐輪場等の整備や子育て世代・高齢者が求めるソフト面の施策を実施し,少子高齢化に対応した集約型のまちづくりが必要である。</li> <li>2. 公共交通機関の利用促進を図るため,通勤,通学時における利便性の高いバスルートの検討など,公共交通サービスの充実を図る。</li> <li>3. 自転車道やわかりやすいバス利用案内板の整備など,環境にやさしい移動手段の利用促進が必要である。</li> </ol> </li> </ul>	